



大庭小学校だより

誰もが大切にされる学校をめざして

令和6年度がスタートしました。新入生65名、全校485名です。

学校長の佐藤です。大庭小学校3年目となりました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。今年度も、大庭小学校の目指す学校像を「誰もが大切にされる大庭小学校」としました。春休みに明石市前市長の「冷たい社会から脱し、住む人だれもにやさしい町をめざす。人生において誰もが支援が必要な時がある。だから支援の必要な方のための政策を充実させる」という主張に触れました。市長と学校長で立場は大きく違うのですが、私も考えとしては全く同じです。小さな社会として誰もが大切にされる学校を実現することが、だれもにやさしい町＝共生社会につながると考えるからです。この学校を実現するため、子ども同士、保護者同士、地域の方同士、教職員同士のつながりが深まるのが大切です。また、子どもと大人や学校内外のつながりが深まることも大切です。学校だよりがその一助となれば幸いです。



さて今年度も、大庭小学校の子どもたち一人一人を大切にするために、「自己選択と自己決定」をキーワードに、様々な取組を行っていきます。他ならぬあなたが選んだこと決めたことを大事にすることが、その人を尊重することになるからです。人生は選択と決定の連続であり、その結果が今の私たちです。このキーワードには自分の人生を自立(自律)して責任をもって生きてほしいという願いも込めています。

今回はその中で「学年担任制」を紹介します。それぞれの学級に担任を指名しますが、学年の子どもたちを学級担任だけではなく複数の学年教職員で見守ります。授業を交換したり、学級の枠を外した活動を行ったりしていきます。算数などでは、自分のペースで進めたり、自分でやり方を決めたりすることで一人一人の個性に応じることがができます。生活科や総合的な学習の時間では、一人一人の興味・関心に応じた活動に取り組むことができます。児童の自己選択と自己決定を大切にするため取組です。複数の目で子どもの良さを見取ることができますし、教職員の個性を生かすこともできます。右に担任名を載せていますが、学年部の名前にもご注目ください。もちろん、担任以外も全員が子どもたちのサポーターです。

また、1年生は入学当初に月齢別学級編成とします。生まれ順に区切った学級で学年担任たちが子どもたちを発達段階に応じて丁寧に指導支援します。1年生の4月生まれと3月生まれの差はとても大きく、より年齢の小さい児童が安心して自己発揮できるようにという配慮です。同時に、入学後の様子を丁寧に見取り、最適な学級編成をするためでもあります。見取った様子を生かし、6月に新しい学級を編成します。これも一人一人を大切にするための取組です。

子どもたち同様、私たち教職員も新しい気持ちでがんばります。

学校だよりでは、誰もが大切にされる学校の取組や考えをご紹介します。不定期で発行しますので、日々の大庭小学校の様子はホームページでご覧いただけると幸いです。ほぼ毎日更新です。 ■ ■ ■

